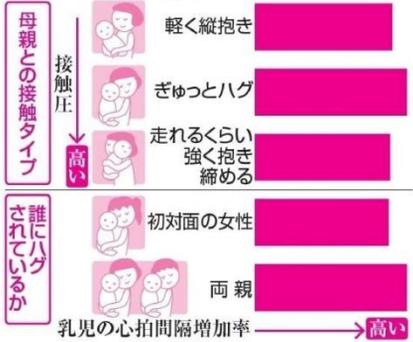


抱き方による乳児の心拍間隔増加率の違い  
(東邦大の資料を基に作製)



## 親のハグで乳児リラックス

### 生後4カ月以上東邦大など初実証

生後4カ月以上の乳児は両親にハグされると、他人にハグされたときよりリラックスすることを、東邦大医学部の吉田さちね助教（神経科学）と船戸弘正教授、東京大、大阪大の研究チームが実験で突き止めた。こうした反応は生後4カ月未満の乳児には認められないため、乳児が4カ月間

の両親との触れ合いを通じて、母親や父親に特有の抱き方を記憶した可能性があるという。実験では、親と0歳児のペア100組以上を対象に、抱き方や、抱く人によって乳児の心拍の間隔がどう変わるかを心電図を使って調べた。

まず、母親に「軽く縦抱きする」「かわいと思う」「ぎゅっとハグする」「そのまま走れるくらい強く抱き締める」の3種類の方法

で、それぞれ20秒ずつ乳児を抱いてもらった。すると、ハグの最中は、他の二つの抱き方をされているときより乳児の心拍の間隔が長くなる割合「心拍間隔増加率」が大きかった。増加率が大きいほど副交感神経がより活性化したりリラックス状態であるため、親子が普段行っているハグが、乳児の最もリラックスする抱き方であることが分かった。

次に、母親や父親がハグした場合と、育児経験のある初対面の女性がハグした場合を比較したところ、両親にハグされたときの方が、初対面の女性るときより乳児の心拍間隔増加率は大きく、よりリラックスしていることが判明した。一方、両親の心拍間隔増加率もわが子をハグしている最中に大きくなり、ハグが親子双方の安心感を高めることが示された。

吉田さんは「今回の研究が乳児の安心感や親子の絆を理解する一助となり、子育て方法の科学的な検証に役立つことを期待している」と話した。

① 記事の実験では、「乳児の心拍の間隔がどう変わるか」何を使って調べましたか。漢字3字で書きましょう。

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

② 記事によれば、生後4カ月以上の乳児は、誰にどのような抱き方をされているときに最もリラックスできると分かりましたか。

(誰に)

[ ]

(どのような)

[ ]

③ ハグにはどのような効果があると言えますか。「親子」「安心感」の2つの言葉を使って、20字以内で書きましょう。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

④ この実験結果はどのようなことに役立ちそうですか。あなたの考えを自由に書きましょう。

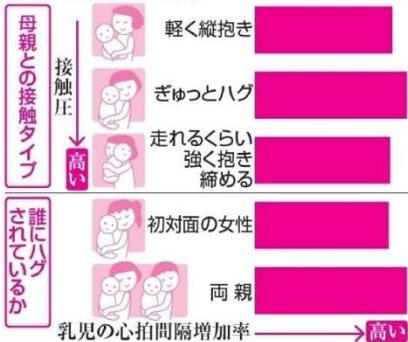
[ ]

2020年5月12日夕刊

年 組 名前

## 解答例

抱き方による乳児の心拍間隔増加率の違い  
(東邦大の資料を基に作製)



## 親のハグで乳児リラックス

① 記事の実験では、「乳児の心拍の間隔がどう変わるか」何を使って調べましたか。漢字3字で書きましょう。

**心電図**

② 記事によれば、生後4カ月以上の乳児は、誰にどのような抱き方をされているときに最もリラックスできると分かりましたか。

(誰に)

**両親に**

(どのような)

**[(かわいいと思って)ぎゅっとハグ(する)]**

③ ハグにはどのような効果があると言えますか。「親子」「安心感」の2つの言葉を使って、20字以内で書きましょう。

**(例) 親子双方の安心感を高める効果がある。(18字)**

など

④ この実験結果はどのようなことに役立ちそうですか。あなたの考えを自由に書きましょう。

**(例) 子どもがすくすく育つために親がどうかかわればよいかのヒントになるだろう。**

**子育てに親のかかわり方がとても大切であることを証明する材料として役立つ。**

など

## 生後4カ月以上東邦大など初実証

生後4カ月以上の乳児は両親にハグされると、他人にハグされたときよりリラックスすることを、東邦大医学部の吉田さちね助教(神経科学)と船戸弘正教授(東京大、大阪大の研究チームが実験で突き止めた。こうした反応は生後4カ月未満の乳児には認められないため、乳児が4カ月間

の両親との触れ合いを通じて、母親や父親に特有の抱き方を記憶した可能性があるという。実験では、親と0歳児のペア100組以上を対象に、抱き方や、抱く人によって乳児の心拍の間隔がどう変わるかを心電図を使って調べた。

まず、母親に「軽く縦抱きする」「かわいいと思っ てぎゅっとハグする」「そのまま走れるくらい強く抱き締める」の3種類の方法

で、それぞれ20秒ずつ乳児を抱いてもらった。すると、ハグの最中は、他の二つの抱き方をされているときより乳児の心拍の間隔が長くなる割合、心拍間隔増加率が大きかった。増加率が大きいほど副交感神経がより活性化したりリラックス状態であるため、親子が普段行っているハグが、乳児の最もリラックスする抱き方であることが分かった。

次に、母親や父親がハグした場合は、育児経験のある初対面の女性がハグした場合を比較したところ、両親にハグされたときの方が、初対面の女性の方が、乳児の心拍間隔増加率は大きく、よりリラックスしていることが判明した。一方、両親の心拍間隔増加率もわが子をハグしている最中に大きくなり、ハグが親子双方の安心感を高めることが示された。

吉田さんは「今回の研究が乳児の安心感や親子の絆を理解する一助となり、子育て方法の科学的な検証に役立つことを期待している」と話した。

2020年5月12日夕刊

年 組 名前